

【副反応報告頻度の比較】

(100万回接種当たり)

ワクチン名	対象期間	報告頻度	うち重篤
(A) HPVワクチン計		355.8	206.0
サーバリックス	H21.12～R2.4.30	362.2	213.0
ガーダシル	H23.8～R2.4.30	334.0	181.9
		(A)/(B)	8.53倍

(B) 主な定期接種ワクチン計		40.2	24.1
DPT(ジフテリア・百日咳・破傷風)	H25.4.1～R2.2.29	101.3	39.3
DT(ジフテリア・破傷風)	H25.4.1～R2.2.29	12.2	2.8
不活化ポリオ	H24.8～R2.2.29	19.7	10.4
四種混合(ジフテリア・百日咳・破傷風・ポリオ)	H24.10～R2.2.29	36.6	23.8
風しん	H25.4.1～R2.4.30	28.5	19.6
麻しん	H25.4.1～R2.4.30	41.4	36.8
MR(麻しん・風しん)	H25.4.1～R2.4.30	25.6	14.6
BCG	H25.4.1～R2.2.29	151.7	37.6
日本脳炎	H24.11.1～R2.2.29	23.9	11.9
13価肺炎球菌(プレベナー13) (肺炎球菌感染・肺炎等を除く)	H25.10.28～R2.2.29	51.5	43.1
Hib	H20.12～R2.2.29	54.0	36.3
水痘	H25.4.1～R2.4.30	22.4	14.9

* 第47回(2020年5月20日持ち回り審議)、第48回(2020年7月17日)の厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会の資料に基づく(HPVワクチンは第48回部会)。

* Hibと13価肺炎球菌ワクチンは、それぞれ同時接種からの報告例が多く、双方の報告数にカウントされているため、実際の報告頻度は上記より低いものとなる。